



平成29年1月20日
三郷市立北中学校
第2学年学年通信 No26

我がクラスのスローガン



クラス代表1名の「私の冬休み」の1分間スピーチから始まった11日の学年集会。各クラス学級委員による3学期のクラスの目標とそれに続く、クラス全員の声を合わせた目標宣言が行われました。各クラスの目標は、下のようでした。

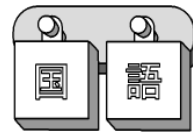
- 1 明日やる一はバカヤロー
- 2 学力向上
- 3 健康第一
- 4 落ち着けよ
- 5 さらになる上へ

続いて、佐藤先生から、3年生に向けて落ち着いた生活を心がけて欲しい、3年生代表の終業式・始業式の言葉に触れながら受験生という意識を持った生活をする事について話されました。最後に、準備して臨むことが一人ひとりの進路実現につながり、一日一日を大切に過ごして欲しいとまとめの話がありました。

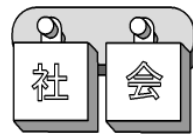
中三川先生から、吉田松陰についての本を紹介しながら、「やればわかる」…いろんな知識はやっているうちに、または使っているうちにわかるようになるものだ、まずはひたすらに取り組むれば必ず「わかる」ところに達するはずだ。「やる恥、やらぬ恥」…やったとき失敗してしまうかもしれないからやらないのではなく「挑む」ことを恐れずに「まずは自分でやってみる」強さを携えていきたい、といった話がありました。松陰は、鎖国状態にある中で、かの“黒船”に自分で小舟を漕いで近づき「外国のことを学ばせてください」と直談判してしまう無鉄砲さもあった、ということでも有名です。とにかく、そのときに「これをやるべきだ」と考えたら、もうその通りに行動しないと気が済まない人だったのでしよう。その「行動力」が、日本政府を動かしたわけですから、同じ人間として感服せざるを得ません。

各クラスで掲げた今回のスローガンも、私たちの学年目標も、「飾り」でなく「実現させる行動力」に懸かっていることを、強く自覚するべきときだと思います。

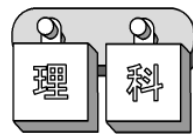
冬休み課題テスト・学力テストから



課題テストについては、努力の差がでたと思えます。覚えようと頑張った人は高得点がとれているでしょう。実力テストでは、文章で答える問題の正答率が低かったようです。同じ文学的な文章の読解問題でも、選択肢のある問題はできているので、自分の考えを文章で書き表す力を付けることが課題です。

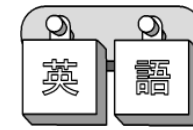


課題テストは、学習をしてテストに臨んだかどうかで差が現れました。問題は、冬休みの課題を順番は変えましたがそのまま出題しました。学力テストでは、前回より点数が上昇した生徒が多くいました。地理では、グラフ・表の読み取りを面倒がらずに学習しておくことが大切です。歴史では、大まかな流れをつかむということでは、教科書の88、89ページなどで、どんなことが起きているのかを学習しておくといいでしょう。



実力テストでは、事前に補習を行ったこともあり、高得点を取れた人も増えたと思います。勉強すれば結果につながると実感した人も多いのではないのでしょうか。内容別に見ると、記号や語句を答える問題は非常によくできていました。一方、説明問題については苦手とする生徒も多く、課題が残りました。課題テストでは個人差がはっきり出て、勉強不足を露呈する結果でした。今回の課題テスト

は計算問題のみの出題でした。計算問題で大事なことは練習量です。しっかりと基本を確認し、何度も繰り返し練習するようにしましょう。



課題テストでは、「やればできる」を実感できた人が多かったのではと思います。今学期の英語では、形容詞をたくさん使います。休み中に覚えたものを忘れないようにしましょう。実力テストの問題で、自分で英文を作ったり、単語を補充する問題が苦手な傾向にあります。ワークの文法問題を解くだけでなく、積極的に英作文にもチャレンジしましょう。長文を読めるようにするためには、たくさん読むことが大切です。コツコツ積み重ねていきましょう。

埼玉県公立高校入試希望調査

(12/15現在)

	定員A	希望B	B-A
春日部	397	418	21
越ヶ谷	318	597	279
越谷北	357	508	151
越谷南	357	518	161
越谷東	278	289	11
草加	358	516	158
草加東	318	439	121
草加南	238	365	127
三郷	238	205	-33
三郷北	278	294	16

* 学科は全て普通科